

# ひだご坊真宗教化センターだより 2020年10月号

発行日:2020(令和2)年9月30日 第3号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞  
高山市鉄砲町6 ☎ 0577-32-0776 web <http://hidagobo.jp> ✉ [takayama@higashihonganji.or.jp](mailto:takayama@higashihonganji.or.jp)

## 引き継がれる「十文字教化体制」

「飛騨御坊真宗教化センター」(以下、センター)が始動し、8月下旬から9月下旬にかけて、岐阜高山教区の各組巡回に併せ、センター及び高山別院としての各組巡回が行われました。そこでお伝えしてきたこと、センターの設置と「十文字教化体制」についてでした。

新たな『ひだ教報』を発行し、資料や組織図など提示もしましたが、何より、センター長が熱く語った言葉には力がありました。それは、高山別院の教別一体を目指してきた過去の動きを踏まえ、このたびの教区改編を機に、「十文字教化体制」を掲げセンターが発足したことの意義の大きさをセンター長が受け止め、大事としたことの表れでしょう。

これまでの『ひだ教報』は、教区についての内容で占められていましたが、今後はセンターとご坊別院についてお伝えしていくものとして発行されます。今回発行された第96号(号数は引き継ぎました)は、



設立にあたってのセンターの概要と理念をまとめたものであり、特に「十文字教化体制」とは何かを理解いただく手立ての一つとして、高山地区の皆様には、役職に関わりなく、お目通しいただきたいと願うところです。

### 「教別一体」、そして「十文字教化体制」へ

「十文字教化体制」、これは、これまで全く無かったものが提唱されているわけではありません。昨年厳修された「教区・別院 宗祖御遠忌法要」では、法要教化の取り組みとして同朋唱和でのお勤めがなされました。飛騨全域の組門徒会員には「にっちゅう同朋唱和」に参列いただき、約1年間、各組組門徒会の事業として「正信偈」のお勤め練習に取り組みされました。また、「おたいや同朋唱和」として、募集による各寺院からの参加者については、「正信偈・真四句目下」の同朋唱和の練習が組単位で行われました。

同朋唱和は、旧高山教区と組(組門徒会)と別院が連携して作り上げていった御遠忌法要の事業でありましたが、旧来の「教別一体」が目指した象徴的実現像であり、ここにすでに「十文字教化体制」の実績があるのではないのでしょうか。

“何を改め何を残すのか”を求められたのが教区改編であったのですが、残すもの、引き継ぐべきものとしての一つが「十文字教化体制」なのであり、これをより力強く実働させていくのがセンターの使命ではないかと思います。

### センター運営の軸「企画会議」

センター組織の統括部門として「企画会議」が設置されました。

「企画会議」は、まさに「十文字教化体制」の推進のため、各組及び関係団体、そして何より別院との連携を活性化していきます。また、センターの総合企画・中心施策をとりまとめ、センター運営の軸として大きな責務を担うこととなります。この「企画会議」が船頭となって、センター丸の舵取りをしていきます。

どこに向けて漕ぎ出すのか、(しつこいようですが)これも『ひだ教報』をご覧ください、ごいっしょに確かめていければと思います。

飛騨御坊真宗教化センター  
教化主事 三枝正尚



## ★ご坊教化センターからのお知らせ★

### テレビ番組 ごぼうチャンネル! 放送開始!

放送期日 10月2日から1ヶ月間毎日放送!  
放送時間 7時15分~7時30分、17時30分~17時45分  
放送内容 お坊さんのお話、映像「仏典童話」  
視聴方法 ケーブルテレビ Hit net TV!への加入が必要です。  
(お問合せ先 0800-200-8688)

10月2日より、高山のケーブルテレビ「Hit net TV!」(加入者数約14500世帯)にて高山一円のご家庭に真宗のメッセージを届けるべく、子ども向け番組「ごぼうチャンネル!」がスタートします。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、様々な仏事が中止・延期、或いは簡略化せざるを得なくなっており、「仏法を聞く機会」と「道場に足を運ぶ習慣」の減少に拍車がかかることが懸念されます。

「ごぼうチャンネル!」は、このような現状に対し従来行われていた、人を(が)「集める(集まる)教化」ではなく「届ける教化」に眼目を置き、家庭においてもお内仏やお仏壇を中心とした「集う場」と「聞法の機会」を持っていただくことを目的として行うものであり、同時に、家庭同朋の会の結成の一助になることを願い開設いたしました。

なお、高山地区以外のケーブルテレビでの放送や、ユーチューブ(インターネット)などでの放映も企画検討中です。

### 第2回 センター「企画会議」を開催 9月25日

センター機能の中核として設置された「企画会議」が実働を始めました。今回の第2回開催では、「組門徒会研修」と「ひだご坊インターネットHP」が主な議題となり、それぞれ方策立案のためプロジェクトチームを設置して検討を進めることが確認されました。

また、別院からは「祠堂経」新設についての説明がありました。

## ★別院からのお知らせ★

### 新仏事 ご坊さま「<sup>しどうきょう</sup>祠堂経」

#### —永代経・申経とともに新たな仏縁として—

本年、別院の秋季彼岸会より、「永代経」「申経」とは別に、ご坊さま「祠堂経」の新仏事を始めました。

永代経は、葬儀の後などにまった形で志納されるものが多く、春と秋の彼岸中に読経と法話の座が開かれるものです。「祠堂経」とは、個人の年忌や月忌、公開講座や定例でご坊別院にお参りに来られた時など、個別の事情に合わせて祠堂経志をお納めいただき、祠堂経法名軸に法名を記載し、期日を定めず晨朝のお勤めで祠堂経読経を行います。一座限り個別に読経を行う「申経」をさらに簡略化したもので、より多くの方に気軽に申し込んでいただけるものとして始めました。

亡き人に手を合わせることから念仏相続のご縁が広がることを願いとしたご坊さまの「永代経」「申経」、そして新たに「祠堂経」を加え、さらにご坊とのご法縁を、広く浸透させてまいりたいと考えております。

コロナの影響で駐車場収入が激減しております折、仏事による収入増を図ってまいりたいこともあり、各ご寺院におきましてもご紹介いただきますようお願い申し上げます。

※ 同封のお知らせをご覧ください。

※ 「祠堂経」は真宗由来の言葉ではありませんが、北陸地方の慣習に習い、真宗における永代経と同様の願いを持つものとしてお勤めいたします。



### 御堂番を再開しました!

新型コロナウイルス感染症拡大防止、豪雨による被害等により4月3日から9月7日まで御堂番をお休みいただいていたのですが、9月8日より再開いたしました。



センターが稼働し始め、コロナ感染に配慮しながら、各部会の動きも始まってきています。

育成部会では、今年度、清見組と荘白川組を対象に、帰敬式実践運動の取り組みとして「法名に関する懇談会」を開催します。その事前学習会が、「法名を決める立場の者が学ぶべきことは何か」を視点として、9月7日、育成部会委員を対象に開催されました。

当日は、三島センター長の講義と部員による懇談（質疑応答）が行われましたが、その中の要点となる部分を抄出し、センター長が加筆訂正したものを連載いたします。

■帰敬式・報恩講へ集約される教化を

曾我量深先生は、「本山の教化はスリム化しなければならない。帰敬式と報恩講の二つに絞るべき」というようなことを言われた。これを裏から理解すると、種々の教化を実施しても、帰敬式を受式しない、報恩講に参詣しないのならば、教化の“選択”が必要である。教化の“集中”、すなわち「帰敬式実践運動」と「報恩講参詣」に教化の重点を置くべきということではないか。

■門徒の務め、寺院・住職の使命

浄土とはどのような功德莊嚴がなされているか。浄土のはたらきによって仏教という真実が自然に生ずる。『阿弥陀経』に曰く、「みな自然に念仏・念法・念僧の心を生ず」と。念仏は帰依三宝の志願を生ぜしむるはたらきである。従って、念仏の教えを聞いている「すべての門徒は、帰敬式を受け、宗門及び寺院、教会護持興隆に努めなければならない」（宗憲第2条、第2項）わけである。

近年、帰敬式受式者が減少しているのは何故か。念仏の教えが“説かれていない”のか、“聞いてもらえない”のか。未受式者が亡くなった時、剃刀を行い法名をつける。問題にしたいのは、亡くなった方に法名をつける数と、生前につける法名の比率である、どっちが多いか。ここにおいて住職の教化の質が問われる。

住職の仕事は、一言で申せば、“帰敬式受式者を生み出す”ことにある。それはそのまま、報恩講参詣へとつながっていくという道理がある。真宗の寺院とは、ひとえに「帰敬式を受式するところ」であり、「報恩講が勤まる場所」である。「帰敬式を受式す

る」「報恩講が勤まる」、この二つを抜かしたら真宗寺院ではない。

■宗祖の門徒が勤める報恩講①

現今、報恩講を勤めることだけで精一杯の寺院がある。参詣者の減少がそれを物語っている。広島の本願寺派の住職（故人）が、「土徳」という題のドキュメンタリー映画の中で言っていた言葉が耳から離れない。「土徳がなくなったら真宗はなくなる」と。真宗の土徳と言うならば、それは、念仏功德莊嚴によって“自然に報恩講が勤まってくる”ことではないか。

再三申し上げるが、帰敬式を受式者が生まれること、それがそのまま、報恩講参詣へとつながっていくということには道理がある。

帰敬式を受けてお釈迦様の弟子になるのだということは言うのだが、それだけでは無いのではないかと思う。“宗祖の門徒になる”ということをおそらく言わないのはなぜか、不思議に思うことがある。<続く>



法名に関する懇談会 育成部会 (9月7日 別院会館センター室)

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2020年10月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター	会場	時間	高山別院	会場
1	木	14:00	部落差別問題等に関する協議会	WEB			
2	金	13:30	青少幼年部会	研修室			
3	土				13:00	三日のご坊 法話：輪番	本堂
4	日						
5	月	13:30	同朋唱和推進の願いを聞く会	益田組 賢誓寺	7:00	半日華	
6	火	13:30	真宗公開講座（一組真宗の会慶讃お持ち受け講演会）	別院			
7	水						
8	木	14:00	解放推進協議会	WEB			
9	金						
10	土						
11	日				13:00	大谷婦人会定例 法話：輪番	御坊会館
12	月						
13	火				7:00	前住上人ご命日	本堂
14	水						
15	木				7:00	半日華	
16	金						
17	土						
18	日						
19	月						
20	火						
21	水	19:00	教化研究所	別院 研修室			
22	木						
23	金						
24	土						
25	日						
26	月				8:30	高山二組門徒会 清掃	境内地内
27	火				9:00 13:00	吉城組清掃 親鸞聖人お逮夜	本堂
28	水				13:00	親鸞聖人ご命日 法話：畑 亮徳氏（願徳寺住職）	本堂
29	木				9:30	おみがき 益田組 他	
30	金				7:00	一日華	
31	土						

11月

日	曜	時間	ご坊センター	会場	日	曜	時間	別院	会場
5	木	14:00	査察委員講習	高山教務支所	1	日		報恩講準備	
24	火	19:00	教化研究所	研修室	2.3	月火		報恩講	
					11	水	13:00	大谷婦人会定例	御坊会館
					13	金	7:00	前住上人ご命日	本堂
					27	金	13:00	親鸞聖人お逮夜	本堂
					28	土	13:00	親鸞聖人御命日	本堂

